

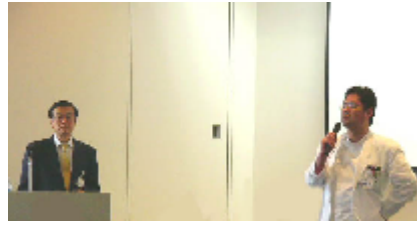
北部イベント

北部病院公開講座

西棟 4 階診療放射線専門学校講堂

平成 17 年 3 月 12 日(土)に緩和ケアの公開講座を開催いたしました。

『当院における緩和ケア - 緩和ケア病棟の紹介と実情 - 』という演題で、緩和ケア担当医師の中村明央助手(外科)および緩和ケア病棟責任者の沢田祐子師長による講演となりました。今回で 6 回を数える緩和ケアに関する公開講座でしたが、開催以来最も参加者の多い講演会となりました。



緩和ケアやホスピスはまだまだ一般的にまだまだ浸透していないようで、本やインターネット、別の公開講座などに聴講されて、学ばれて参加された方が多く、聴講後のアンケートには、事前に学んだ知識を実際に緩和ケアに携わっている先生や看護師さんから直接聞く事ができてより身近に感じられました、とのご感想を多数いただきました。今回を持ちまして緩和ケアに関する公開講座は終了となりますが、皆様のご希望等を伺いながら企画をさせていただきます。

今後は 5 月 21 日(土)に産婦人科科長高橋教授による『女性のための健康講座』、整形外科科長西山助教授による『腰痛について』の 2 つ演題での公開講座を企画しております。聴講希望の受付方法等の詳細につきましては、病院だより(第 29 号~30 号)、院内掲示、広報よこはま(4 月号)等でお知らせさせていただいております。現在、聴講の受付を開始しております。聴講をご希望される方は、応募要領をご確認のうえ往復はがきにてご応募ください。たくさんのご応募お待ちしております。

患者さまへのお知らせ・お願い

ゴールデンウィークのお知らせ

暦どおり、4 月 29 日(金)、5 月 1 日(日)、5 月 3 日(火)~5 月 5 日(木)、5 月 8 日(日)が休診日となっております。ゴールデンウィーク中の診療日は大変混み合います。通常より待ち時間が長くなることもございますがご了承ください。

北部病院公開講座のお知らせ

演題： 『女性のための健康講座 月経不順・子宮内膜症・更年期障害など-』
『腰痛について - 高齢者の腰痛と坐骨神経痛 - 』

演者： 高橋 諄医師 (産婦人科・教授)
西山 嘉信医師 (整形外科・助教授)

日時：平成 17 年 5 月 21 日(土) 13:30~15:00 15:00~16:30

場所：西棟 4 階 診療放射線専門学校講堂

定員：各講演とも 100 名(定員を超えた場合は抽選となります)

応募方法： 往復はがきにて、必要事項を記載のうえご郵送ください。

申込み受付期間：平成 17 年 4 月 11 日(月)~ 5 月 9 日(金) 最終日必着

確認事項：希望演題、住所、氏名、年齢、連絡先(電話番号)の 5 項目

また、返信用の面にもご住所をご記載のうえ郵送ください。

問合せ先：昭和大学横浜市北部病院公開講座担当 045-949-7000(代表)

注意事項： 1 枚のはがきにて、1 講演のお申込みとなります。2 講演とも希望される方は 2 枚おはがきが必要となります。

各講演とも受付期間終了後、定員を越えた場合には、厳選なる抽選を行います。当落のご連絡は 5 月中旬より順じご連絡いたします。また、電話での当落のお問合せ、照会等は一切お答えしかねます。ご了承ください。

編集後記

寒い冬が終わり 暖かい季節がやってきました。そう、春です。しかし私を含め国民の 5 人に 1 人は今年の春を 100% 満喫できません。すぎ花粉が猛威をふるっているからです。(前年の夏の気温が高く日照時間が長くと大量飛散になるのです)1cm 四方で多い場所では花粉数 3000 個観測されています。これでは窓も開けられず布団も干せません。1 週以上水様性鼻汁が持続する、目がかゆいなどのこれは？と思われる症状があればまずすぎ花粉症と考えられます。我々耳鼻咽喉科医は 1. 季節前からの内服投薬 2. 日帰りレーザー手術などで快適な早春を過ごせるように日々治療しております。残念ながら現在まで有効な根本治療はありませんが運動負荷、ヨーグルト、しそ などは有意にアレルギー反応を減らすことが証明されています。私も一患者として 5 月の初旬にはすぎ花粉が消失すると信じています。

広報委員会 委員 門倉 義幸

北部病院だより 第 30 号

平成 17 年 4 月 15 日発行

発行責任者 田口 進(昭和大学横浜市北部病院長)

編集責任者 島田 誠(広報委員会 委員長)

発行 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL : http://www10.showa-u.ac.jp/~hokubu/

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』が参照できます。

北部病院だより 第30号

第 30 号【2005/4/15 発行】

発行者：昭和大学横浜市北部病院



5 回目の桜の季節を迎えました。

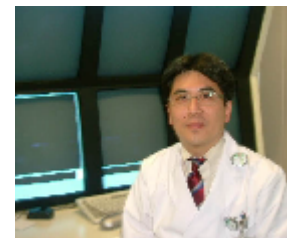
巻頭言

「カクイガク」

私が日常携わっているのは核医学です。別名の「シンチ」や「RI」とかで呼ばれる事の方が多いかもしれません。大抵こう申し上げても「へー」でも「えっ!」でも無い不思議そうな顔をされることが多いようです。無理ありません、この分野を専門としているお医者さんは 800 人位で、絶滅希少品種とは行かないまでも少数です。病院での位置づけは「放射線科」「画像診断」「核医学」となります。

どれをとっても一般になじみの無い言葉ばかりですが、機械を使って出てきた身体の絵(お医者さんは何かによらず検査機械から出てくる絵を画像と呼んでいます)を毎日眺めるのが主な仕事です。眺めていると言ってもただ見ているだけでは済みません。検査がちゃんと出来たかどうか、出てきた結果をみてどんな状態が考えられるかを担当の先生に文章にして報告します。これが放射線科の画像診断です。

いよいよ私の専門である核医学について紹介をさせて頂きたいと思います。新聞の健康欄や健診のオプション検査で耳にする CT 検査も画像診断の仲間です。核医学はどこが違うのでしょうか? 実は出来てくる画像の成り立ちが全く違っています。CT 検査は身体の外から X



放射線科 助教授 武中 泰樹

線を当てて断面を観察しますが、核医学では「放射性物質」を使います。検査の時には身体の中で行き先がわかっている薬に放射性物質をくっつけたものを、注射したり飲んだりします。その後、特殊なカメラで身体から出てくる放射線を追跡して画像にします。

例えば、使った薬が腫瘍に集まるものであれば、画像の中で放射線が多く見える場所に「腫瘍らしきものがある」と考えるわけです。ごく微量の薬で検査が出来ますので日常の身体の働きに影響することなく検査が出来ます。大変応用範囲の広いやり方ですので脳、肺、心臓、肝臓、腎臓、甲状腺、骨といった色々な臓器の形、機能、血流や病気を調べる検査が行われています。

よく、そんな物を飲んだり注射したりして危なくないか?と問われますが、使っている放射性物質は予め身体への影響が少ないものを沢山の中から選んで使っています。量も必要最小限にしていますので、核医学検査での被ばくは 1 回あたり 0.2~8mSv(ミリシーベルト:被ばくの量を表す単位)位とされています。放射線を使った検査では、胃のバリウム検査が 1 回で 4mSv 前後とされています。自然界から受ける放射線が世界平均で年間 2.4mSv、デンバー(アメリカ)の様に放射線の多い場所で 10mSv 位とされていますので極端に恐れるほどの量ではないことがおわかり頂けたでしょうか。もちろん無意味に被ばくするのはいけませんので検査が必要かどうか、使う量が適切かどうかを考えなくてはなりません。検査が必要かどうかを考えるのが担当の先生方で、使う量を患者様 1 人毎にチェックするのが私のもう一つの役目でもあります。

実際に検査を受けられた方が心配されることとして、「検査時間が長かったので、沢山被ばくしたのでは無いか?」があります。被ばくの多少は使った薬の種類と量で決まり、カメラからは何もできていません。検査時間と被ばくとは関係がありませんのでご安心下さい。

放射線の医学、産業への利用は大変盛んですが、発電用以外の数少ない放射性物質の平和利用である核医学をよろしくお願ひ致します。

付録 シンチはシンチグラフィ(scintigraphy=scintillation:閃光+graph:画像)、RI は radioisotopes(ラジオアイソトープ、放射性物質)からきた言葉です。

医師の配属・異動・退職

新規配属医師

4/1付【3/2~4/1】

【附属病院より】

増田 陸雄 (麻酔科)

昭和大学歯科病院
歯科麻酔科より

神田宗太郎 (内科)

昭和大学病院附属東病院
神経内科より

神崎 温子 (外科)

昭和大学医学部
形成外科学教室より

谷 将之 (メンタルセンター)

昭和大学病院附属東病院
精神医学教室より

工藤謙太郎 (メンタルセンター)

昭和大学病院附属東病院
精神医学教室より

【他病院より】

木庭 雄至 (救急センター)

昭和大学
平成7年度卒

南 和 (循環器センター)

鳥取大学
平成3年度卒

平野 和美 (救急センター)

東海大学
平成8年度卒

藤井 隆成 (こどもセンター)

昭和大学
平成12年度卒

古橋 正洋 (整形外科)

北海道大学
平成元年度卒

小倉 寛嗣 (眼科)

昭和大学
平成13年度卒

今永 和幸 (麻酔科)

長崎大学
昭和60年度卒

高瀬 博康 (呼吸器センター)

昭和大学
平成8年度卒

山本 英樹 (メンタルセンター)

東海大学
平成13年度卒

滝西 安隆 (内科)

昭和大学
平成12年度卒

佐藤 庸子 (呼吸器センター)

東京女子医科大学
平成10年度卒

福重 寛 (消化器センター)

産業医科大学
昭和62年度卒

松井 容子 (消化器センター)

大分医科大学
平成9年度卒

田中 絵里子 (放射線科)

滋賀医科大学
平成10年度卒

配置転換・異動・退職医師

4/1付【3/1~4/1】

【配置転換】

新谷 隆 (救急センター 消化器センター)
小松 大芽 (麻酔科 救急センター)
山田 真帆 (内科 救急センター)

【異動】

門倉 光隆 (呼吸器センター)
(医学部 第1外科学教室へ)
丸田 一人 (循環器センター)
(医学部 第1外科学教室へ)

【退職】

北之園 高志 (放射線科)
竹内 司 (消化器センター)
古田 伸夫 (メンタルケアセンター)

井上 幸治 (内科)
紀平 弥生 (眼科)
鈴木 純 (整形外科)

【職員人事 (退職・異動)】

看護部...松本美恵子看護部長 (退職)

事務部...田村正和事務長 (退職)
上野洋一事務長補佐 (異動)
(昭和大学病院事務長兼東病院事務長)

【職員人事 (新規配属)】

看護部...粕谷久美子看護部長 (元看護副部長)
神原武子看護副部長 (大学病院より異動)

事務部...島地 淳 (昭和大学事務部より異動)
事務長兼放射線学校事務長

診療統計

2005年2月統計データ ()内は1日平均

外来患者数 27,364人(1,189.7人)、入院患者数 16,619人(593.5人)、救急車搬送件数 450人(16.1人)、手術件数 381件(20.1件)

外来担当表

外来予定は都合により変更する場合がございますのでご了承ください。

平成17年4月1日改訂

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
呼吸器センター	門倉光隆 (初再診)		鹿間裕介 (再診)	医局員 (初診)	医局員 (初診)	医局員 (初診)	鹿間裕介 (初再診)	神尾義人 (再診)	医局員 (初再診)	栗生和幸 (初診)	医局員 (初診)
	笠原慶太 (初再診)	笠原慶太 (初診)	松田正典 (初診)		中神和清 (初再診)		笠原慶太 (初再診)	笠原慶太 (初再診)	笠原慶太 (初再診)	大塚寿々子 (初再診)	
	北見明彦 (再)		中島宏昭 (初)				松田正典 (再)	中島宏昭 (再)	中島宏昭 (再)		
	若村邦彦	若村邦彦			請川淳一	請川淳一	井上晴洋	井上晴洋	大塚和朗	大塚和朗	土曜初診1
消化器センター	小林泰俊	小林泰俊	大塚和朗	大塚和朗	野口知子	野口知子	出口義雄	永田浩一	為我井芳郎 (第1)		日高英二
	春日井尚		加藤博久		下田 良	下田 良	笹島圭太	笹島圭太	鎮西 亮	鎮西 亮	里館 均
	佐藤嘉高		櫻田博史	辰川貴志子	若下方彰 (第1)		河口剛一郎	山村冬彦	大前芳男	大前芳男	
	山村冬彦	山村冬彦	工藤進英	大森靖弘	石田文生	小鷹紀子	櫻田博史	新谷 隆	遠藤俊吾	遠藤俊吾	土曜初診2
								工藤進英 (特殊診)			
循環器センター	緒方信彦	医局員	落合正彦		小原千明	岡田良晴	荒木 浩		岡林宏明	加藤源太郎	医局員
精神神経科 (初診)	工藤行夫		吉益晴夫		秋元(1,3) 伊川(2,4,5)		秋元洋一		西岡玄太郎		工藤謙太郎
精神神経科 (再診)	伊川太郎		秋元洋一		西岡玄太郎		吉益晴夫		工藤行夫		松丸憲太郎
精神神経科 (再予)	池澤 聡		鄭 英徹		山本英樹		永井友子		青山 洋		小城幸乃
精神神経科 (再予)			医局員	松丸憲太郎 (物忘れ外来)	医局員	松丸憲太郎 (物忘れ外来)	医局員		医局員		医局員
緩和ケア 事前予約のみ										中村明央	
内科 (23-2)	山田真帆 (内科消化器)	大野恭史 (一般内科)		山田真帆 (内科消化器)	菊嶋修示 (循環器不整脈)	菊嶋修示 (循環器不整脈)			菊嶋修示 (循環器不整脈)		菊嶋修示 (循環器不整脈)
内科 (23-3)	衣笠えり子 (内科腎臓)	高橋 健 (内科腎臓)	衣笠えり子 (内科腎臓)		衣笠えり子 (内科腎臓)	衣笠えり子 (内科腎臓)	坂下暎子 (内科血液)	坂下暎子 (内科血液)	大野恭史 (一般内科)	川崎仁志 (内科神経)	医局員
内科 (23-5)	坂下暎子 (内科血液)	坂下暎子 (内科血液)	福井俊哉 (内科神経)	福井俊哉 (内科神経)	三代川章雄 (内科消化器)		福井俊哉 (内科神経)	福井俊哉 (内科神経)	福井俊哉 (内科神経)		三代川章雄 (内科消化器)
内科 (25-1)				中山文義 (腎) (第1火休診)							
内科 (25-2)		渡邊浩之 (一般内科)		渡邊浩之 (一般内科)		木村 聡 (内科・感染症)				渡邊浩之 (一般内科)	医局員
内科 (25-3)	田口 進 (内科消化器)		田口 進 (内科消化器)	田口 進 (内科消化器)				田口 進 (内科消化器)		田口 進 (内科消化器)	
内科 (25-5)	荏原 徹 (糖尿病・内分泌)		嶋田 顕 (内科腫瘍)		荏原 徹 (糖尿病・内分泌)		嶋田 顕 (内科腫瘍)	嶋田 顕 (内科腫瘍)	荏原 徹 (糖尿病・内分泌)	富田高重 (第1内科消化器)	荏原 徹 (糖尿病・内分泌)
内科 (25-6)		三上哲弥 (内科消化器)	三上哲弥 (内科消化器)		山本真寛 (一般内科)		緒方浩顕 (内科腎臓)	山本真寛 (一般内科)	三上哲弥 (内科消化器)		緒方浩顕 (内科腎臓)
内科 (25-7)		辻 正富 (糖尿病・内分泌)	辻 正富 (糖尿病・内分泌)		伊藤英利 (内科腎臓)		辻 正富 (糖尿病・内分泌)	辻 正富 (糖尿病・内分泌)	伊藤英利 (内科腎臓)		辻 正富 (糖尿病・内分泌)
小児科	野中善治	神経外来 予防接種	梅田 陽	乳児検診 フォローアップ 外来	北澤重孝	心臓外来 腎臓外来	野中善治	成育外来 フォローアップ 外来	梅田 陽	乳児検診 フォローアップ 外来	医局員
小児科	曾我恭司		曾我恭司		梅田 陽		曾我恭司		京田学是		京田学是
小児科	高野忠将		野中善治		京田学是	心理相談	松岡 孝	心理相談	高野忠将		高野忠将
小児科		杉山彰英		大橋祐介		五味 明		大橋祐介		五味 明	杉山彰英 (奇) 真田 裕 (偶)
皮膚科 (初16-3)	宋 寅傑		濱口太造		島田洋子		濱口太造		濱口太造		濱口太造
皮膚科 (再16-1)	濱口太造	松村卓美	宋 寅傑	濱口太造	濱口太造	松村卓美	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子
皮膚科 (再16-2)	松村卓美	外科手術	佐々木雅美	外来手術	佐々木雅美	外科手術	松村卓美	外来手術	佐々木雅美	外来手術	
外科	中村明央		新井一成		新井一成		新井一成		中村明央		中村 (奇) 新井・山崎 (偶)
外科					山崎智己		福成信博 (第1木)	井関雅一 (偶)	成原健太郎	岩波正英 (偶)	黒井克昌 (偶土のみ)
形成外科	大塚尚治		[手術日]		大塚尚治		[手術日]		大橋正和		大塚 (奇) 大橋 (偶)
脳神経外科 (初再診)	池田尚人 (診断書外来)		医局員		広田暢夫	退院後外来	畑山和己		広田暢夫		池田・広田 (偶) 畑山和己 (奇)
脳神経外科 (再診)	畑山和己 予約のみ		医局員		池田尚人		広田暢夫		池田尚人		池田尚人 (奇)
整形外科	医局員 (初診外来)	医局員	西山嘉信	医局員	逸見範幸	医局員	西山嘉信	医局員	逸見範幸	医局員	医局員
整形外科	松久孝行	ギブス診 予約のみ	古橋正洋		松久孝行	ギブス診 予約のみ	古橋正洋		八木貴史		医局員
整形外科	川崎恵吉		齋藤 元		八木貴史		川崎恵吉		齋藤 元		
産婦人科 (初12-7)	鈴木紀雄 (奇) 安藤直子 (偶)		高橋 諄 (中山 健)		高橋 諄 (御子柴尚郎)		小塚和人 (近藤哲郎)		小川公一		医局員
産婦人科 (産科 12-1)	近藤哲郎		小川公一		栗城亜具里		安藤直子		鈴木紀雄		
産婦人科 (産科 12-6)	高橋 諄 中山 健			特殊診 予約のみ		高橋 諄	御子柴尚郎			特殊診 予約のみ	
産婦人科 (産科 12-8)	小川公一		鈴木紀雄	特殊診 予約のみ	近藤哲郎		高橋 諄		安藤直子	特殊診 予約のみ	医局員
産婦人科 (産科 12-6)			中山 健		御子柴尚郎				栗城亜具里		
泌尿器科 (初診11-1)	佐々木春明	椎木 (検査) 予約のみ	椎木一彦		深澤 立	深澤 (検査) 予約のみ	青木慶一郎	鈴木俊一 (再診)	島田 誠	菅原 草 (再診)	医局員 (初再診)
泌尿器科 (再診11-3)	島田 誠	島田 (女性外来) 予約のみ	深澤 立		青木慶一郎	青木 (検査) 予約のみ	椎木一彦		佐々木春明	佐々木春明 (男性外来予約)	
泌尿器科 (検査11-5)		特殊検査 予約のみ		特殊検査 予約のみ		特殊検査 予約のみ		特殊検査 予約のみ		特殊検査 予約のみ	
眼科	玉井裕子	特殊診 (玉井)	小池正直	特殊診 (紀平)	紀平弥生		小池正直	特殊診 (小池)	玉井裕子		小池正直 (奇) 中村 徹 (偶)
眼科	中村 徹		中村 徹	特殊診 (中村)	小倉寛嗣		小倉寛嗣	特殊診 (小倉)	中村 徹	特殊診 (中村)	玉井裕子 (奇) 岡田法子 (奇)
眼科	岡田法子	特殊診 (岡田)	岡田法子	特殊診 (岡田)			岡田法子	特殊診 (岡田)	小倉寛嗣		小倉寛嗣 (偶)
耳鼻咽喉科 13-2	門倉義幸 (初診)	腫瘍甲狀腺外来 予約のみ	池田尚弘 (初診)		医局員 (初診)	東洋医学外来 予約のみ		柳/徳丸 (初診)	いびき外来 予約のみ	医局員 (初診)	医局員 (初診)
耳鼻咽喉科 13-2	徳丸岳志 (再診)			レーザー外来 予約のみ				門倉義幸 (再診)			
耳鼻咽喉科 13-3	柳裕一郎 (再診)		柳裕一郎 (再診)	小児外来 予約のみ				池田尚弘 (再診)			
耳鼻咽喉科 13-5	油井健史 (再診)					補聴器外来 予約のみ		補聴器外来 予約のみ		補聴器外来 予約のみ	歯科装具 予約のみ

放射線治療の外来日は、月火木金： 馳澤憲二です。